



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社エフテック 上場取引所 東
 コード番号 7212 URL https://www.ftech.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 管理本部長 (氏名) 青木 啓之 (TEL) 0480-85-5211
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	189,986	42.0	109	-	292	-	198	-
2022年3月期第3四半期	133,787	2.4	△2,500	-	△2,760	-	△3,156	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,742百万円(-%) 2022年3月期第3四半期 △584百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	10.69	-
2022年3月期第3四半期	△169.86	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	181,011	65,706	28.0
2022年3月期	160,931	60,578	28.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 50,639百万円 2022年3月期 45,106百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	10.00	10.00
2023年3月期	-	10.00	-	-	-
2023年3月期(予想)	-	-	-	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	270,000	40.7	2,000	75.0	2,400	85.6	1,500	616.2	80.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 1社（社名）India Steel Summit Private Limited : 有

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	18,712,244株	2022年3月期	18,712,244株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	121,471株	2022年3月期	125,021株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	18,589,094株	2022年3月期3Q	18,585,569株

(注) 1. 期末自己株式には、「役員向け株式給付信託」により当該信託が保有する当社株式（2023年3月期3Q 87,600株、2022年3月期 91,200株）を加算しております。

2. 期中平均株式数は、自己名義所有株式分を控除する他、「役員向け株式給付信託」により当該信託が保有する当社株式（2023年3月期3Q 89,302株、2022年3月期3Q 92,859株）を控除して算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	7
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年12月31日)における世界経済は、物価高騰、各国の政策金利引き上げ、為替の変動、中国のコロナ政策を巡る混乱等により先行きは不透明な状況が続いておりました。

自動車業界においては、半導体の供給不足による生産変動の影響が続く中、原材料価格の高騰や中国のコロナ政策を巡る混乱の影響もあり、依然として厳しい経営環境が続いております。

こうした事業環境下、当社グループは、2020年4月よりスタートさせた第14次中期計画において、「限界突破!世界中のお客様にこだわりのBest Oneを」との全社グローバル方針のもと、「Back to Basics」「Challenge for New」を基礎として、お客様に対して新たな価値を提供すべく活動しております。当事業年度においては、将来性豊かなインドにおける新たな子会社の取得に続き、多くの自動車メーカーが集積するアメリカにおける営業活動を一層活性化するため、新会社を設立することを決定しました。

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、半導体不足による生産変動や原材料の価格高騰等による影響を新規受注製品の量産効果、商品売上及びコスト削減等で補う結果となり、売上高は189,986百万円(前年同期比42.0%増)、営業利益は109百万円(前年同期は営業損失2,500百万円)、経常利益は292百万円(前年同期は経常損失2,760百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は198百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3,156百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

半導体不足の影響による主要得意先の生産変動はありましたが、新規得意先の量産本格化や商品売上の増加等により、売上高は16,123百万円(前年同期比10.5%増)となりました。損益面では、原材料価格の高騰等の影響はありましたが、商品の売上増加や円安による為替換算の影響もあり、営業利益は470百万円(前年同期比51.7%増)となりました。

(北米)

半導体不足の影響により主要得意先の生産台数は伸び悩んだものの、新規受注製品の量産本格化や円安による為替換算の影響等により、売上高は121,027百万円(前年同期比56.8%増)となりました。損益面では、原材料価格の高騰やコロナ関連の政府助成金の剥落があったものの、新規受注製品の量産効果により、営業損失は2,323百万円(前年同期は営業損失4,226百万円)となりました。

(アジア)

主要得意先の生産台数は中国のコロナ政策を巡る混乱や半導体不足等の影響により変動しましたが、India Steel Summit Private Limitedの子会社化や円安による為替換算の影響もあり、売上高は52,834百万円(前年同期比25.7%増)、営業利益は1,858百万円(前年同期比8.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金、機械装置及び運搬具の増加により、前連結会計年度末に比べ20,079百万円増加し、181,011百万円となりました。

負債は、長期借入金の増加により、前連結会計年度末に比べ14,951百万円増加し、115,304百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の増加により、前連結会計年度末に比べ5,128百万円増加し、65,706百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年11月4日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,981	8,494
受取手形及び売掛金	36,327	34,202
商品及び製品	8,754	6,835
仕掛品	7,500	8,023
原材料及び貯蔵品	11,775	13,308
その他	3,387	4,759
貸倒引当金	△2	△19
流動資産合計	69,723	75,605
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,352	19,644
機械装置及び運搬具(純額)	36,467	46,038
建設仮勘定	15,570	15,285
その他(純額)	10,976	14,189
有形固定資産合計	81,366	95,156
無形固定資産	299	296
投資その他の資産		
投資有価証券	7,412	6,914
その他	2,130	3,038
投資その他の資産合計	9,542	9,952
固定資産合計	91,208	105,405
資産合計	160,931	181,011
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,966	23,755
短期借入金	36,540	26,859
1年内返済予定の長期借入金	10,244	12,707
未払法人税等	652	388
役員賞与引当金	44	56
その他	8,371	12,387
流動負債合計	78,819	76,153
固定負債		
長期借入金	16,735	33,561
役員退職慰労引当金	51	51
退職給付に係る負債	919	1,016
負ののれん	39	35
その他	3,787	4,486
固定負債合計	21,533	39,151
負債合計	100,353	115,304

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,790	6,790
資本剰余金	6,733	6,733
利益剰余金	26,619	26,428
自己株式	△62	△60
株主資本合計	40,081	39,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	518	383
繰延ヘッジ損益	—	448
為替換算調整勘定	4,498	9,907
退職給付に係る調整累計額	7	8
その他の包括利益累計額合計	5,025	10,748
非支配株主持分	15,472	15,066
純資産合計	60,578	65,706
負債純資産合計	160,931	181,011

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	133,787	189,986
売上原価	125,721	177,592
売上総利益	8,065	12,393
販売費及び一般管理費	10,566	12,283
営業利益又は営業損失(△)	△2,500	109
営業外収益		
受取利息	50	63
受取配当金	60	103
持分法による投資利益	—	79
為替差益	72	933
その他	167	196
営業外収益合計	350	1,376
営業外費用		
支払利息	552	1,172
持分法による投資損失	22	—
その他	36	20
営業外費用合計	610	1,193
経常利益又は経常損失(△)	△2,760	292
特別利益		
固定資産売却益	83	25
投資有価証券売却益	4	—
負ののれん発生益	—	765
リース解約益	84	—
特別利益合計	172	790
特別損失		
固定資産売却損	8	13
固定資産除却損	55	27
特別損失合計	63	40
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△2,651	1,042
法人税、住民税及び事業税	1,175	1,478
法人税等調整額	△313	△442
法人税等合計	861	1,036
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△3,512	6
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,156	198
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△355	△191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25	△125
繰延ヘッジ損益	—	461
為替換算調整勘定	3,012	6,140
退職給付に係る調整額	△82	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	23	261
その他の包括利益合計	2,928	6,736
四半期包括利益	△584	6,742
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△979	5,922
非支配株主に係る四半期包括利益	394	820

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(米国会計基準(ASC) 第842号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、米国会計基準を採用している在外連結子会社は、ASC第842号「リース」を適用しております。これにより、借手のリース取引は原則としてすべてを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。

本会計基準の適用にあたっては、その経過的な取扱いに従って、本会計基準の適用開始日である第1四半期連結会計期間の期首において、累積的影響額を認識する方法を採用しております。

この結果、従前の会計基準を適用した場合と比較して、当第3四半期連結会計期間末の有形固定資産の「その他」が1,171百万円、流動負債の「その他」が272百万円、固定負債の「その他」が899百万円、それぞれ増加しております。なお、利益剰余金期首残高及び当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定については、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	14,592	77,163	42,031	133,787
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,803	1,033	2,088	13,926
計	25,395	78,197	44,120	147,713
セグメント利益又は損失(△)	310	△4,226	1,712	△2,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,203
セグメント間取引消去	△297
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△2,500

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	16,123	121,027	52,834	189,986
セグメント間の内部売上高 又は振替高	12,119	878	1,592	14,589
計	28,243	121,906	54,426	204,575
セグメント利益又は損失(△)	470	△2,323	1,858	5

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5
セグメント間取引消去	104
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	109

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

第1四半期連結会計期間において、India Steel Summit Private Limitedの株式を取得し、連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を765百万円計上しております。なお、負ののれん発生益の金額は、当第3四半期連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。また、特別利益に計上しているため、報告セグメントには配分しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。